

かがやきによる支援・関わりの活用状況調査

調査の期間： 令和 5 年 9 月 19 日～10 月 13 日

調査の対象： 令和 4 年度に危機介入型コンサルテーション対応でケースを共有した京都市内の事業所 31 事業所※

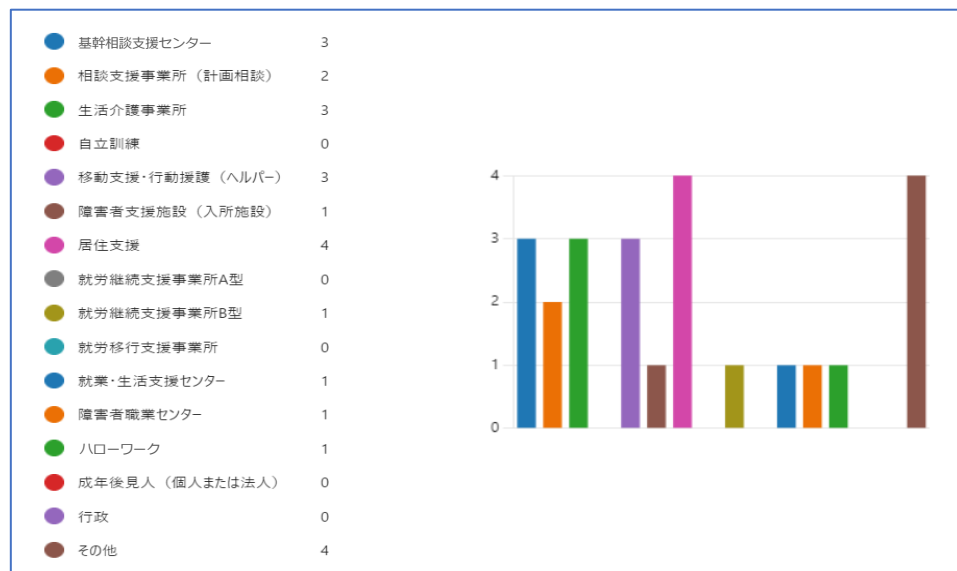
※アセスメント実施中に利用中断・終了となった 6 事業所は除いた。

また、同じ支援者が複数の事業所を兼任しているケース（2 ケース）については、1 事業所として集約し回答依頼した。

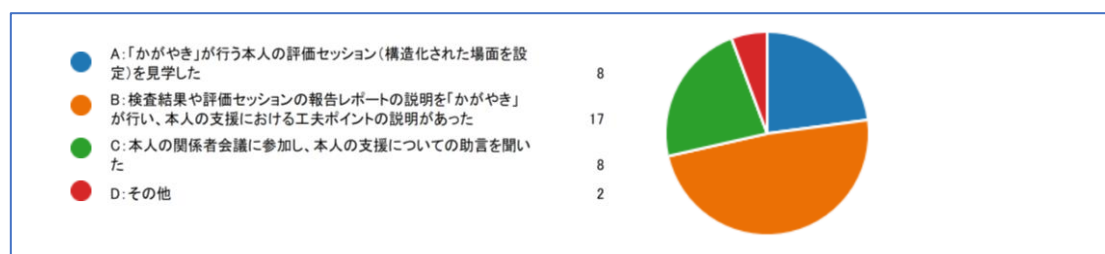
調査の方法： 電話またはメールにて事業所へアンケートの趣旨を説明し、Web 上のアンケートフォーム（Microsoft Forms）で回答を収集

アンケート回答数：24 事業所（回答率：77.4%）

1～3. あなたのご所属の事業種別



4. あなたが参加した「かがやき」の支援・関わりは、どんなことですか。（複数回答可）



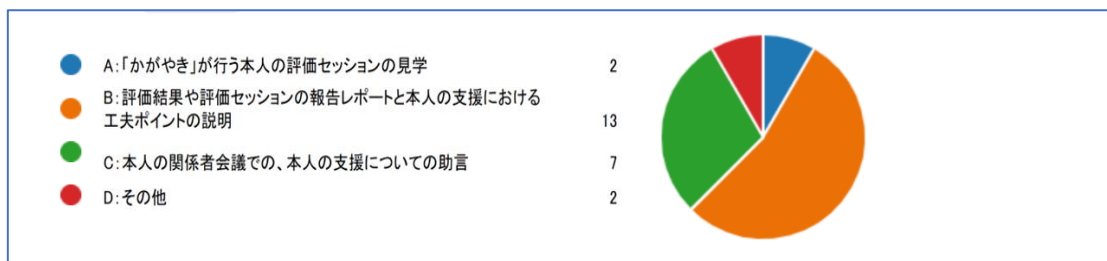
5. 質問 4 で「その他」を選んだ方は、具体的にお書きください。

- ・ 特性評価と支援のポイント、助言が知りたいが、ご家族・ご本人の都合で評価ができていない。母親だけがかがやきで面談を続けている。（相談支援事業所）
- ・ 初回面接に同行、継続して支援についての助言を聞いた。（その他）

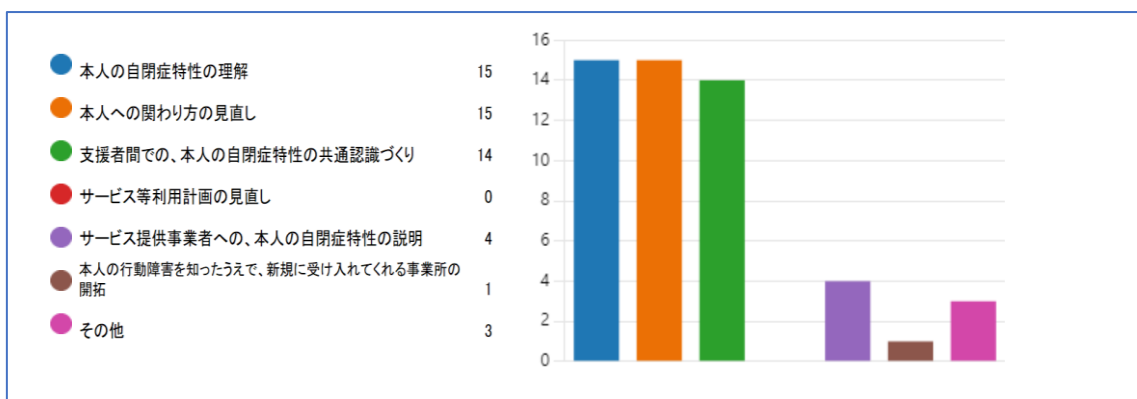
6. 質問 4 で選択した「かがやき」が行った支援・関わりは、当該ケースの支援計画の見直しや本人への関わりに役立ちましたか。



7. 質問 6 で「とても役に立った」「役に立った」と答えた方にお尋ねします。A、B、C、D のうち、どの支援・関わりが最も役に立ちましたか。



8. 質問 6 で「とても役に立った」「役に立った」と答えた方にお尋ねします。具体的にはどんなところに役立ちましたか。(複数回答可)



9. 質問 8 でチェックした項目について、具体的に教えてください。

- ・ 評価できる支援機関が、自分だけだったところが、かがやきに入ってもらえることで複数で評価できるようになったことが利用者にとっても自分にとっても心強く有難い。利用者がかがやきの関りを求めるようになったことが利用者の成長で、その成長の評価を今後もかがやきと一緒にさせていただけると大変有難い。(基幹相談支援センター)
- ・ 本人の特性について、支援者間で「そうだろう」と口頭でやりとりしていたことを、か

がやきという機関に評価してもらえたことで後ろ支えを得たように思われ、今後の支援を考える際に役立っている。また、保護者も含め関係者で共通認識ができたことが同じ方向を向いて支援ができる一助になっている。第三者的でありながらも本人のことを知って助言いただけるため、サービス提供者でもない立場の人間として、関わっていただけること自体も心強く、有難く感じている。(基幹相談支援センター)

- ・ 支援者もですが、ご家族が本人の特性について理解を深められ、対応の見直しをしていただけたきっかけになったと思います。本人も特性については理解されていますが、ご家族が心配されている本人の言動が特性によるものだという理解にはつながっていないようです。(基幹相談支援センター)
- ・ 根拠に基づいた評価結果を関係各所にお伝えすることで、それまでにはない見立てができ、支援に役立った。(相談支援事業所)
- ・ 本人の様子について感覚的に把握していたことを、特性として根拠とともにご教示いただき、理解を深めることができた。感覚プロファイル、TTAP 中の伝え方、リマインダーを事前に示しておく有効性は実際の場面に活かしたいと思いました。(移動支援)
- ・ 今まで行ってきた支援が少なくとも間違いではないということが分かった。しかし一方で本人の能力について実態より高く支援者が見積もっていた事も分かった。(居住支援)
- ・ 本人の関りにおいて具体的な工夫ができ、違う視点での支援の幅が広がったように感じます。(居住支援)
- ・ 実際に行っている支援や環境設定がどうなのか(いいのか、改善した方がいいのか)ということと一緒に検討していただけてよかった。(生活介護事業所)
- ・ なんとなくはわかって支援していたが、これで確信となった。(生活介護事業所)
- ・ 本人の苦手とする行動の説明があった。(生活介護事業所)
- ・ それぞれの思いで支援しているところがありましたが、しっかりとしたアセスメントを通じて根拠ある評価が出るので、支援を検討する際の共通認識づくりに特に役に立ちました。自閉症の特性を理解していないケースや、逆に自閉症の一般論にとらわれすぎているケースもあり、それぞれの特性をしっかりと知るということは大切だと感じました(相談支援・生活介護)
- ・ ご本人が得意とする刺激、苦手とする刺激を知ることで、やすらぎやすい空間づくりに役立った。(入所施設)
- ・ 今回は、本人が精神科への通院が出来ていなく、不穏時の対応が個別対応しかなく、他傷行為や、もの壊しなど激しい行動に対してどのようにアプローチするかが課題であったが、今回のことを通して、母親も通院の必要性を感じてもらい通院につなげることが出来た。本人の対応も本人にあったものを考える機会となり、最終的に薬なども出て落ち着いて過ごせるようになっていきます。ただ、今は太りすぎによる無呼吸症候群などの問題がなってきました。(就労継続支援 B 型)
- ・ 人が疲れやすいという点、やらなければいけないが先延ばしにすることに悩んでいる点を共有すると、段取りが発達障害の特性により苦手なのではないかという話があった。性格や怠けなのか発達障害の特性なのかにより、本人への接し方が変わるので助言が参考になった。(その他)
- ・ 母、福祉、基幹相談支援センター、地域の主治医との間で、共通認識ができた。さらに、

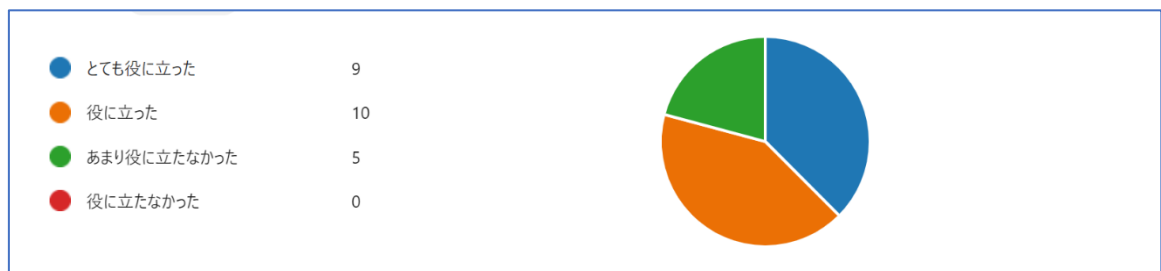
複数の機関による一貫した支援が的を得た実効性のあるものになった。(その他)

- ・ 特性の苦手部分に対しての対処方法の検討。家族と支援者間での障害特性の理解。(ハローワーク)
- ・ 事業所への本人自閉症特性説明、関わり方の助言。(職業センター)
- ・ 企業へ本人の特性を伝えていただき、配慮が必要なことを理解していただきました。(就業・生活支援センター)
- ・ 所属内で、仕事の指示の方法の共有が出来たため、コミュニケーションが円滑になり、効率が改善された。本人のモチベーションも上がったと見受けられる。(その他)

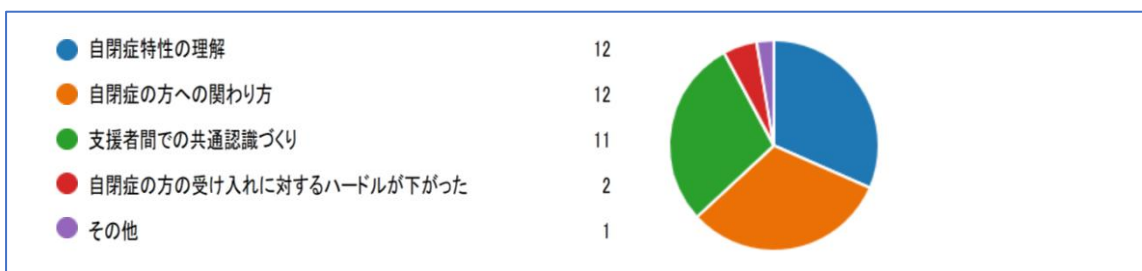
10. 質問 6 で、「あまり役に立たなかった」「役に立たなかった」と答えた方にお尋ねします。具体的にはどんなところに役立ちませんでしたか。

- ・ ご本人に会うための段取りに時間がかかり、その間に本人が自宅をでられなくなっている。ご家族からは「通所できなかったその日にリカバリーができないのか」、「会議で話し会ってから、この後の方針は伝えますと言われた」とのことで、ご家族の気持ちが前向きなものではなくなっています。以前、評価やアドバイスをお願いした方は、その後もとても役に立ちました。今年の方はまだ評価ができていないですが、支援者に向けてアドバイスを頂けると幸いです。(相談支援事業所)
- ・ 評価結果を受け取った時点で対象者がサービス対象区域外の GH へ入居され、サービスの利用がなくなった為(移動支援)

11. 質問 4 で選択した「かがやき」の支援・関わりは、他の自閉症の方の支援に役立ちましたか。



12. 質問 11 で「とても役に立った」「役に立った」と答えた方にお尋ねします。具体的にはどんなところに役立ちましたか。(複数回答可)



13. 質問 12 でチェックした項目について、具体的に教えてください。

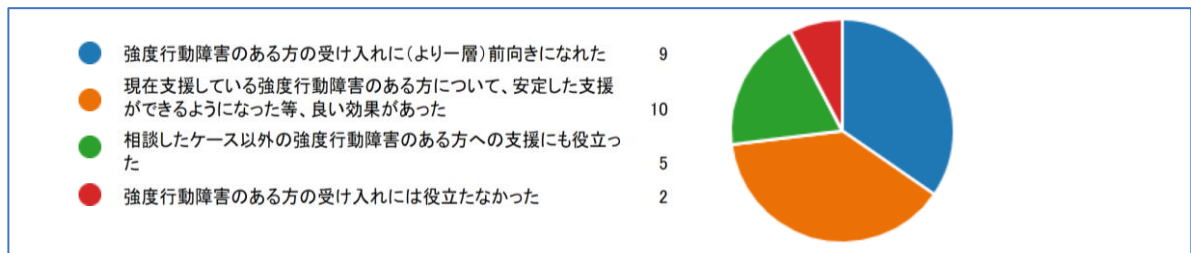
- ・ 当該利用者の評価作業をすることが、他の支援でも応用できるようなものだったと思います。教材の役割を担ってくれているなと思います。(基幹相談支援センター)
- ・ 自閉症といっても、それぞれであること。「こうしたら良い」という保護者の思いなどと、本人の特性とが合わないこともあることを支援するときには考えるようになった。(基幹相談支援センター)
- ・ 今回報告いただいたレポートを参考に本人の行動や今後の支援について考えることができた。(基幹相談支援センター)
- ・ 特に感覚プロフィールの考え方を、他利用者の仮説を立てるところに役立たせていただきました。(移動支援)
- ・ 細かく、段階的に理解することができた。特性へ配慮した支援の意味を正しく理解することができ、他の支援者へも根拠を持って伝えることができました。(居住支援)
- ・ 自閉症の方に対する弊社ヘルパーの取り組みに役立ちます。(居住支援)
- ・ 感覚についての話 (生活介護事業所)
- ・ これまでの関わり方において、必要以上の声かけを行うとどのような行動がみられたか報告があった。(生活介護事業所)
- ・ ○○さんの時はこういう風に言われていたし、こういう支援が結果が出ていたので△△さんにもやってみようというケースや、全員で説明を受けることで自閉症支援への共通認識がある程度できるので、支援がスムーズに進んだ。(相談支援・生活介護)
- ・ 視覚的な支援を取り入れることで見通しが立ちやすいということがよくわかった。(入所施設)
- ・ 他のケースでも関りについて見直すきっかけになりました。(就労継続支援 B 型)
- ・ 他の対象者で自閉症と思われる方がいる。人により個人差はあると思うが、あらかじめ情報として自閉症の特性を頭に入れながら支援をするとアンテナをはることができた。(その他)
- ・ 本人のわかりにくさや、情報処理の困難さが正確に把握し理解することができた。助言が的をえたものになり、社会資源や家族の支援が有効なものになった。(その他)
- ・ 発信が困難な方に対しての具体的な症状や困り感の事例確認。事業所へ具体的な事例を提示することで理解を進めることに役立った。(ハローワーク)
- ・ 今後のケースでも、とても役に立つと思います。(職業センター)
- ・ 会社が疑問に思っていることが、実は特性の可能性があったことが分かりました。(就業・生活支援センター)
- ・ 理解度が上がることで、受け入れやすい環境に繋がる。また、新たな雇用に繋がる。(その他)

14. 質問 11 で「あまり役に立たなかった」「役に立たなかった」と答えた方にお尋ねします。具体的にはどんなところに役立ちませんでしたか。

- ・ まだご本人に会っておらず評価ができていないので、アドバイスが頂けていない。(相談支援事業所)

- ・ 「自閉症」の理解の助けにはなったが、あくまで該当利用者の評価であり、他の利用者の特性にあてはめることは、ミスリードにつながる恐れもあるため。(相談支援事業所)
- ・ 会議後、ほとんど支援が無かった為(移動支援)
- ・ 他の自閉症の利用者支援では、特に問題無くサービス提供できている為(居住支援)
- ・ この方には有効ではあるが、他の方には当てはまらない。(生活介護事業所)

15. 「かがやき」の支援・関わりにより、強度行動障害のある方への現在または今後の支援にどんな影響があったか、以下から当てはまるものを選択してください。(複数回答可)



16. その他、ご意見やご感想など、ご自由にお書きください。

- ・ いつもお世話になっております。成人されると発達検査や今回のような評価を受けられる機会がほとんどないと思います。今回、目に見える「検査報告」というかたちで評価結果を提示いただけたことで、関係者を含め、ご本人、ご家族にもわかりやすかったのではないかと思います。ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。(基幹相談支援センター)
- ・ いつも大変ありがとうございます。この利用者さんを通して、日々勉強をさせていただいています。今後ともよろしくお願いいたします。(基幹相談支援センター)
- ・ 今年の方は支援者、役所、私も関わり方に苦慮している方です。家族への説明やアドバイスをどうすれば、協力を得られるのか、サービスで代行ができるのか、助言いただけると幸いです。(相談支援事業所)
- ・ 今回ヒントをいただいてやってみたい関わり方はいくつか思いつきましたが、今のままでも大きなトラブルが毎回あるわけではないから、チャレンジして不調につながる可能性があるなら引き続き様子見…ということを考えてしまいました。外出先で、その場面に応じた適切な示し方をすること、それができる人の育成の難しさを感じています。(移動支援)
- ・ 今回、対象者の方が退所されることとなりました。物を壊す、他害などに対して環境設定や対応のしかたや感覚を満たす、コミュニケーションの取り方、など勉強になることはたくさんありましたがそれが実際の支援で実現できないこと(感覚を満たすものがわからない、提供できない、提供しても壊してしまう、カードでコミュニケーションをとるときに他害がある、パニックやイライラではなくても物を壊したり他害がある)もあり、そんな時にどう対応したらいいかがわかりませんでした。なぜこのような行動をとられるのか、それを未然にふさぐのが大事、ということは理解できましたが実際おこ

ってしまっている行動に対しての対応ができずもどかしい気持ちでした。(生活介護事業所)

- ・ 15 の回答は難しいです。この方個人にはよかったが、個々違うので回答難しいです。(生活介護事業所)
- ・ アセスメントコースの受講は特にチームで支援を行う点で役立ちました。本当に勉強になり、感謝しています。一方で、基礎的な知識を全員がもっていないと進みにくいところもあり、事業所内での自閉症研修への参加等ももっと積極的に実施しないといけないと思いました。また、同じようなプロセスを踏んでも結果が出にくい利用者さんであると、どうしても途中で支援がストップしてしまうところがあります。そこでもっと積極的にかがやきさんを利用できればと思うのですが、どこまで頼ってよいのか？とってしまうこともありました。同じようにアセスメント評価の結果が出て、その時々チームの状況であったり、担当支援員の支援の仕方によって大きく差が出てしまうのも事実としてあり、自閉症支援の底上げ、人材育成が事業所のベースにないと折角の助言を無駄にしてしまうので、その辺も課題であると思っています。(相談支援・生活介護)
- ・ 今後とも、ケースを多くやり取りさせていただければ幸いです。本院の多職種と、直接または ZOOM 会議など用いて、連携会議を持っていきたいと思います。自閉症支援や発達障害支援のすそのや理解者を増やしていきたいと思います。(その他)
- ・ 連携させていただいたことで、事業所への理解が深まり、ご本人も定着(安定した継続勤務)することができました。ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。(職業センター)
- ・ 現状、知識がないままで受け入れております。1 人 1 人特性が違うことなど、まだまだ理解が出来ていない状態です。専門的なご意見を頂き、就業環境を整えていくことが雇用や継続となります。今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。(その他)

以上